登別市トンネル長寿命化修繕計画

平成２６年５月
（令和8年8月更新）

北海道 登別市 都市整備部

１．計画の目的

トンネルの長寿命化修繕計画を策定することにより、従来の事後保全から、計画的かつ予防的な維持管理へ転換し、損傷による第三者被害を未然に防ぎ、安心・安全な道路交通網を確保するとともに、維持管理コストの縮減及び平準化を図る。

２．対象トンネル

本計画の対象トンネルは、登別市が管理する１箇所とする。

		１級市道	２級市道	その他市道	合計
全管理トンネル数		0	0	1	1
	うち計画対象トンネル	0	0	1	1

３．健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

１）健全度の把握の基本的な方針

５年毎に定期点検を実施し、健全度を把握する。また、点検結果からトンネル全体の損傷状況を把握するとともに、第三者被害が懸念される損傷箇所を早期に把握する。

２）日常的な維持管理に関する基本的な方針

日常巡回、定期巡回（月1回）、異常時巡回（地震等）を実施し、損傷の早期発見に努める。

４．長寿命化及び修繕に係る費用縮減に関する基本的な方針

１）老朽化対策における基本方針

施設の老朽化の加速度的な進行を踏まえ、将来にかかる維持管理・更新費用を可能な限り抑制していくため、持続可能なメンテナンスサイクル（点検・診断→計画→修繕・更新）を構築し、施設の長寿命化を図る。

２）新技術等の活用方針

点検及び修繕において、新技術や新工法活用のメリットを十分検討し、積極的に採用することで費用の縮減、効率化、長寿命化を図る。

３）費用の縮減に関する具体的な方針

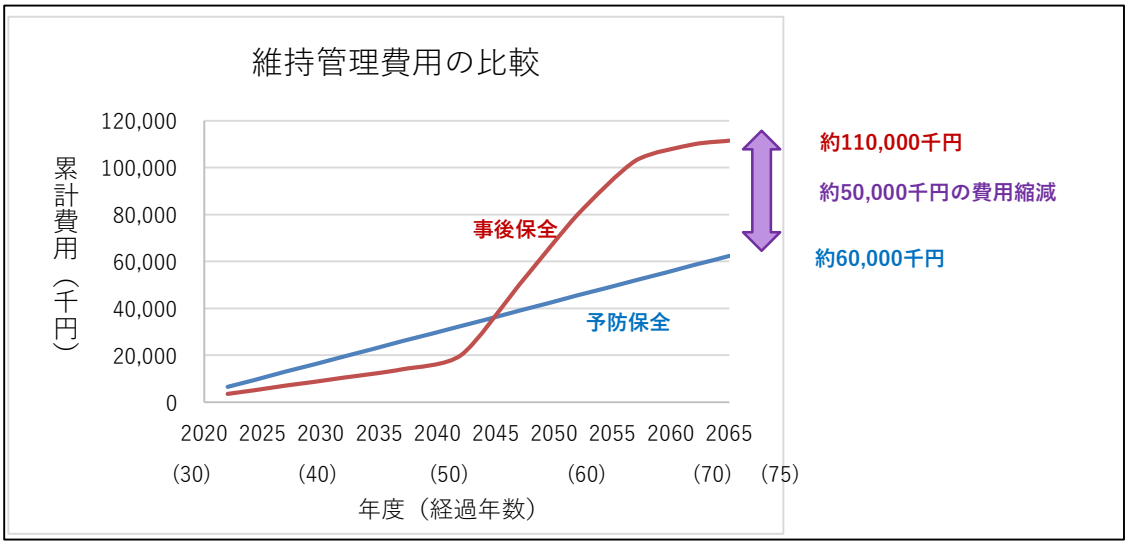
点検等により把握した損傷に対して、劣化が進行し修繕費用が増大しないよう、新技術・新工法を活用した予防措置を実施することで、ライフサイクルコストの縮減を図る。

５．対象トンネルの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期または更新時期

別紙による。

６．長寿命化修繕計画による効果

2022年から耐用年数75年を経過する2065年までの維持管理費用の比較を行った結果、これまでの事後保全型の維持管理から、長寿命化修繕計画に基づいた予防保全型の維持管理へ移行することにより、約５千万円の費用縮減効果が見込まれる。



７．今後の取り組みについて

１）集約化・撤去に関する目標

検討した結果、当該路線は緊急輸送道路に指定されている重要路線であり、代替路線もないことから、現時点での集約化・撤去は困難であるが、今後の周辺環境や利用状況の変化に合わせて再度検討を進めていく。なお、集約化・撤去を実施する際は将来の維持管理コストを50万円程度削減することを目標とする。

２）新技術等の活用に関する目標

補修工事及び点検等では新技術の積極的な活用を検討し、令和13年度までに事業費を概ね50万円削減することを目標とする。

３）費用縮減に関する目標

次回、令和９年度の登別市が管理するトンネル１箇所定期点検においては、徒歩で点検可能な箇所について外部委託はせず、市の直営点検にて実施することで、事業費を４０万円程度削減することを目指す。

７．計画策定担当部署

北海道登別市 都市整備部土木・公園グループ　Tel ：0143－85－3260

【様式１－２】

対象施設ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期

凡例：<----->対策を実施すべき期間を示す

構造物の諸元								直近における点検結果及び次回点検年度			対策内容	対策の着手・完了予定年度		対策に係る全体概算事業費	対策の内容・時期									
施設名	道路種別	路線名	建設年度	施設延長	幅員	等級	所在地	点検結果 年度	健全度	点検の時期	補修内容	着手年度	完了年度	補修費用	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
フンベ山トンネル	その他	登別港町通り	1990	136.5	9.25	D	登別港町	2022	III	R9	ひび割れ、剥落対策	R7	R13	108,000千円	定期点検			詳細調査 実施設計	補修工事	定期点検				

登別市 トンネル長寿命化修繕計画一覧表

施設諸元				点検結果及び点検計画			修繕計画			
施設名	路線名	建設年度	延長（m）	点検年度	判定区分	次回点検年度	対策内容	着手（予定）年度	完了（予定）年度	全体概算事業費（百万円）
フンベ山トンネル	登別港町通り	1990	136.5	2022	Ⅲ	R9	ひび割れ、剥落対策	R7	R13	108